

Rotary 週報



第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール office@osakawestrc.org
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

会長 上田 茂久
幹事 寺田 幸司
会報委員会 木村 友昭

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
Ⅰ 真実かどうか。Ⅱ みんなに公平か。Ⅲ 好意と友情を深めるか。Ⅳ みんなのためになるかどうか。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

シェカール・メータ

No 2549 2022年3月28日 第2976回例会

本日のお知らせ

3月28日例会は時間を短縮して12:40~13:30で
ヒルトン大阪5階桜山華の間にて開催致します。
(お食事は11:45~12:30にお済ませください。)

- ◆ R. S. 「手に手つないで」
- ◆ 卓話 「世界の足元に革命を！」
株式会社BOOT BLACK JAPAN 代表取締役
長谷川 裕也 氏
(担当会員 林 邦彦 君)
- ◆ メンバー・スカウティング・ユニット(MSU)
第8回会合開催
11:30より、ヒルトン大阪5階グラスルームにて開催致しますので、メンバーの方はご出席ください。

次例会のお知らせ

- ◆ R. S. 「奉仕の理想」
- ◆ 卓話 「ジャパンハートさま、リモート授与式
(カンボジアこども医療センター)」
- ◆ RYLA実行委員会開催
例会前11:30より、ヒルトン大阪5階グラスルームにおいて開催致しますので、委員の

方はご出席ください。

- ◆ 4月度定例理事会開催
例会終了後、ヒルトン大阪5階グラスルームにおいて開催致しますので、理事・役員の方はご出席ください。
- ◆ 2022-23年度のための地区研修・協議会 開催
日時： 2022年4月9日(土) 登録開始 12:00
開会 12:30 / 閉会予定 17:00
場所： 大阪国際会議場【登録受付】10階1003
大阪市北区中之島5-3-51
TEL: 06-4803-5555(代表)
出席義務部門：次年度の役職、担当役職
会長、幹事、S. A. A、クラブ奉仕(会員増強含む)、クラブ研修リーダー、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団、米山奨学 以上全11名

前例会の報告

- ◆ 前例会 (3月14日)の出席状況
出席会員数(内13名免除会員) 62名
欠席会員 33名
出席規定適用免除会員 26名
会員総数 108名
出席率 65.26%
- ◆ 2月14日の例会の出席率(MUを含む) 74.19%

3月のロータリーレートは1ドル=116円です

◆ ニコニコ箱 (3月14日分)

- 今日は卓話の順番が回ってきました。精一杯務めさせていただきますのでどうぞ宜しくお願い致します。
樋口 浩邦 君
- 山本一誠会員、先週のなんば花月では大変お世話になりました。本当に良いものを見させて頂きました。
木村 毅 君
- 先日は山本会員に楽しい時間をいただき有難うございました。ニコニコします。 森川 晃夫 君
- ニコニコ協力。 中村 祥 君
- 山内会員からニコニコせよと言われて協力です。
大森 孝平 君
- 一日でも早く戦争が終わりますように。
奥田 祐一 君
- 安部会員還暦おめでとう。 大富 國正 君
- 大変お世話になりました。4月1日付で東京に転勤となります。後任もまた宜しくお願い致します。
梅垣 幸嗣 君
- 土曜日、中学時代の初恋の人に40数年ぶりに孫を伴って会いました。ちょっとうれしくて。
山内 康俊 君

ニコニコ箱 (3月14日分)

クラブ・ニュース

◆ 持ち回り理事会報告

3月14日に開催しました持ち回り理事会において以下の事を決議しました。

- 1) 3月7日例会時のウクライナ支援募金に加えて、奉仕活動会計より追加出金し、ガバナー事務所に送金をする。
- 2) 吉嶺武強会員より退会届が提出され、3月31日付の退会を承認する。

◆ ウクライナにおける人道的危機への対応として、ロータリー財団は救援活動の支援資金を募るための窓口を設置しました

深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中の人が寄付することのできる正式な窓口として、災害救援基金を指定しました。

これに伴い、ロータリー財団は以下を承認しました：

- 現在から2022年6月30日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区5万ドルまでの補助金を申請できます。迅速

な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。

- 上記の期間、難民やそのほかの被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から25,000ドルの補助金を申請することができます。
- 現在から2022年4月30日まで、ロータリー地区は未配分の地区財団活動資金(DDF)を災害救援基金に充て、ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。
- ウクライナ支援のための災害救援基金への寄付は、ロータリー財団災害救援基金にお寄せいただけます。ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022年4月30日までにを行う必要があります。
- ロータリー財団を通じた支援は災害救援基金が主な窓口となりますが、ロータリークラブとロータリーアクトクラブもウクライナでの人道的危機に対して独自の支援を行うことが奨励されています。

災害救援基金を通じた支援に加え、財団はパートナー団体や地域リーダーと協力し、増加する人道的ニーズへの効果的なソリューションを模索しています。

- 国連難民高等弁務官事務所(米国)と協議し、ウクライナや近隣諸国で行き場のない人びとのニーズに対応するための準備を進めています。
- 災害救援におけるプロジェクトパートナーであるシェルターボックスは、東欧のロータリー会員と連絡を取り、一時的な住居やほかの必要物資の提供方法について検討しています。
- 「難民、強制退去者、移住者のためのロータリー行動グループ(The Rotary Action Group for Refugees, Forced Displacement, and Migration)」は、この危機への対応としてグループのリソースを集結させています。

すでに200万人以上がウクライナから避難しており、緊急支援が早急に必要となっています。国連は、避難する人の数が500万人に上る可能性があるとして推測しています。ヨーロッパや世界のロータリークラブが救援活動に乗り出しており、中には避難者を支援するために現地で活動しているクラブもあります。

ロータリーでは、ウクライナと近隣諸国での状況を引き続き注視していきます。クラブによる支援方法や、ロータリー会員にできること、現地の人びとへの影響等に関する最新情報は、ロータリーのソーシャルメディアをフォローしてご覧ください。
(My Rotaryより)